

※第1回会合はオープン(無料)にしております。ご関心をお持ちの方は、是非、体験参加下さい。

第6期 オープン・イノベーション 推進者交流会議

—オープン・イノベーション(OI)を推進する仕組み、OIの多様な展開、課題の選出、
新事業開発の変革と高付加価値の創造をめざす—

日本企業は次代の中核事業を構築する新商(製)品・新事業開発の迅速化が求められ、手段の一つであるオープン・イノベーション(OI)の導入と取り込みに重要性が高まっています。

この状況を踏まえ、「課題解決」「テーマ創出」から「新商(製)品開発」「新事業開発」の変革をめざすべく、OIに大きな関心を持つと共に実際に取り組む企業が増えてきております。

当会では、各社OI推進者が業種業態を超えて集い、OIの推進組織、マネジメント施策等について共同研究・分科会研究を行い、自社のOI推進に役立つ研究成果を共有する本交流会議を開設、今期で6年目を迎えます。

第6期本交流会議開催にあたり、趣旨にご賛同いただき、熱意あるメンバーの方々のご参加をお待ち申し上げます。

● 第1回会合 ● 2018年12月19日(水) 13:00～18:30 東京・四ッ谷 主婦会館プラザエフ

※ 基調講演 「オリンパスのX (Cross) Innovation の取り組み」



1. オリンパスの紹介 一世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現
2. 新中期経営計画(16CSP)の概要 一W字モデルの戦略構築プロセス
3. 技術開発部門の課題 一日本の技術革新力が低下している要因の仮説
4. 16CSP 技術開発機能戦略の概要 一コア技術マネジメントと戦略的人財育成
5. イノベーション技術の取り組み 一X (Cross) Innovation の取り組み

オリンパス(株) 取締役専務執行役員 小川 治男 氏

※ オリエンテーション

- ・第5期分科会研究成果の報告(7分科会)
～「OI推進の仕組み、活動」／「OIニーズ、課題の選出方法」／「新規事業テーマの創出」／
「次世代テーマ探索」／「OIの多様な展開」／「OI推進共通課題の掘り下げ」／
「プロデューサー人材像の仮説立案と検証」～
- ・全体コーディネーター 兼 ファシリテーター、運営幹事の自己紹介
- ・本交流会議の進め方

※ 情報交換会(懇親会)

● 第2回会合 ● 2019年1月23日(水) 13:00～17:00 東京・表参道 IVY HALL

ゲスト講演 「富士フィルムのオープン・イノベーションへの取り組み」



1. 富士フィルムの概要と第二の創業
2. 第二の創業を支える「融知・創新」活動による新たな価値創造
3. 「融知・創新」を実現する社内外コミュニケーションの重要性
4. Open Innovation Hub 開設の背景
5. Open Innovation Hub の取り組み(具体的事例)
6. 課題

富士フィルムホールディングス(株) 技術経営部 シニアエキスパート
Open Innovation Hub 館長

富士フィルム(株) 経営企画本部 イノベーション戦略企画部
シニアエキスパート

小島 健嗣 氏

◆ 構成と推進体制

■ 全体コーディネーター 兼 ファシリテーター：

ナインシグマ・アジアパシフィック株式会社

ヴァイス プレジデント

(前 大阪ガス株式会社 オープン・イノベーション室長)

松本 毅氏



【プロフィール】 1981年大阪ガス株式会社入社。
様々な新規事業創出を成功させる(凍結粉砕機の開発・受託粉砕事業化、薄膜センサー事業化)
研究開発及びマネジメントに従事(薄膜センサー研究開発、基盤研究所・研究企画リーダー、技術企画室課長)。
MOT教育の事業化・全国展開(日本初のMOTスクール設立。2002年10月㈱アイズと取締役MOT事業本部長)。
2008年9月からオープン・イノベーションの仕組み構築(大阪ガス(株)オープン・イノベーション担当部長)

2010年4月オープン・イノベーション室長

2016年4月より現職

大阪大学特任教授、大阪工業大学客員教授、一般社団法人Japan Innovation Network(JIN)理事、産学連携学会理事、大阪イノベーションハブ(OIH)評議員メンター、行政(文部科学省・経済産業省・JST・日本学術振興会等)の各種審議会委員や国土交通省インフラメンテナンス国民会議相談役、文部科学省・JST国プロ「健康生き生き羅針盤リサーチコンプレックス」事業化グループディレクター等を兼務。

■ 研究アドバイザー：可能な限りご出席いただき、研究討議に助言・コメントをいただきます。

P&G イノベーション合同会社

研究開発本部グローバルコネクタンドデベロップヘッドオープンイノベーション(日本・韓国) J.ラダー キリヤナンナヤ氏

■ 運営幹事：メンバーを代表して本交流会議の企画・運営にご支援ご協力をいただきます。

株式会社資生堂

技術知財部知財企画グループグループマネージャー

福西 宏忠氏

DIC 株式会社

R&D 統括本部オープンイノベーション推進グループマネージャー

生島 直也氏

サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社

研究部主任研究員

前川 知浩氏

株式会社 IHI

グローバル・営業統括本部総合営業・マーケティング部グローバル戦略グループ
技術開発本部技術企画部つなぐラボグループ課長

今堀 郁枝氏

株式会社 LIXIL

テクノロジーリサーチ本部研究戦略部主幹

三浦 正嗣氏

ハウス食品グループ本社株式会社

研究開発本部イノベーション企画部

竹山 知華氏

大成建設株式会社

技術センター技術企画部企画室オープンイノベーションチーム

赤坂 幸子氏

■ メンバー：OIに強い問題意識をもたれる企業の推進者の方々。

※本音ベースの Give & Take で議論を深めていただくため、相互に守秘義務を遵守いただける方。

◆ 本交流会議の特徴

1. オープン・イノベーションの目的、組織の役割、社内外の連携、仕組みづくりなど具体的進め方や新しい流れについて、先進事例研究・ゲスト講演から理解が深まります。
2. 知識・経験をベースに交流を深めることにより業種・業界・組織の壁を越えた新しい発想や手法を学ぶことができ、また、共同研究(分科会)を通じて各社の現場で活かせる施策を共有します。
3. 単なる情報交換だけではなく、その背景にある実務に直結したノウハウの交換が行えます。また、社外のネットワークを広げ、パーソナルバリューの向上、メンバー企業間の技術交流にも繋がります。

◆ 研究の進め方

- 第1回会合(12月) 基調講演、第5期分科会研究成果の報告(7分科会)、今後の進め方
- 第2回会合(1月) 先進企業の事例研究、ワールドカフェによる問題意識の交流、希望研究テーマによる分科会編成—これからの研究テーマ、進め方等と発表、他分科会への研究テーマの提案
- 第3回会合(2月) 先進企業の事例研究、分科会研究討議と意見交流
- 第4回会合(3月) 先進企業の事例研究、分科会研究討議と意見交流
- 第5回会合(4月) ゲスト講演あるいはメンバー事例、分科会研究討議と意見交流
- 第6回会合(5月) 合宿研究会—分科会研究討議と意見交流
- 第7回会合(6月) メンバーによる先進事例研究、分科会研究討議と意見交流
- 第8回会合(7月) ゲスト講演あるいはメンバー事例、分科会研究討議と意見交流—最終会合に向けたまとめ
- 第9回会合(9月) 分科会研究成果の発表と意見交流・全体討議

◆ 開催期間 2018年12月19日(水)~2019年9月11日(水) [毎月1回:全9回(合宿研究会含む)]

※8月会合はございません。

会合日: 12/19(水)、1/23(水)、2/20(水)、3/20(水)、4/24(水)、5/24・25(金)・(土)〈合宿研究会〉、6/未定、7/24(水)、9/11(水)

開催時間: 13:00~17:00

会場: 東京・表参道 IVY HALL、東京・四ッ谷 主婦会館プラザエフ

◆ プログラム

研究テーマ／講演・討議内容

第 1 回 2018 12/19 (水)	◆基調講演 オリンパスの X (Cross) Innovation の取り組み オリンパス(株) 取締役専務執行役員 小川 治男 氏 ◆第 5 期分科会研究成果の報告 (7 分科会) ◆全体コーディネーター 兼 ファシリテーター、運営幹事の自己紹介 ◆本交流会議の進め方 ◆情報交換会 (懇親会)	
第 2 回 2019 1/23 (水)	◆ゲスト講演 富士フィルムのオープン・イノベーションへの取り組み 富士フィルムホールディングス(株) 技術経営部シニアエキスパート Open Innovation Hub 館長 富士フィルム(株) 経営企画本部イノベーション戦略企画部シニアエキスパート 小島 健嗣 氏	〔分科会の編成〕 ・ワールドカフェによる問題意識の交流 ・希望研究テーマによる分科会編成 – これからの研究テーマ、進め方等と発表 ・他分科会への研究テーマの提案
第 3 回 2/20 (水)	◆ゲスト講演 OKI のイノベーション・マネジメント改革 沖電気工業(株) 執行役員・経営基盤本部長 Chief Innovation Officer (CINO) 横田 俊之 氏	分科会研究討議と意見交流
第 4 回 3/20 (水)	◆ゲスト講演 バイエルのオープンイノベーションへの取り組み バイエル薬品(株) オープンイノベーションセンター アライアンスマネージャー 八代 好司 氏	分科会研究討議と意見交流
第 5 回 4/24 (水)	ゲスト講演あるいはメンバー事例における オープン・イノベーション推進体制と展開事例のご紹介	分科会研究討議と意見交流
第 6 回 5/24-25 (金・土) 合宿研究会	◆合宿研究会 分科会による集中研究討議 ①分科会に分かれて、メンバー各社の課題・問題意識の交流 ②分科会研究の後半に向けた討議の掘り下げ ③各分科会より研究成果報告に向けた研究討議の概要発表と意見交流	■分科会研究 下記研究課題の例示を参考に問題意識の強い希望テーマに分かれて分科会を編成 〈分科会研究課題の例示〉 1. OI 推進の仕組み、活動 ・推進体制 ・推進課題 ・課題克服法 2. OI ニーズ、課題の選出方法 ・阻害要因 ・成功要因 ・OI 推進リーダーの育成 3. 新規事業テーマの創出 ・テーマ抽出のアプローチ ・OI のスタイル ・パートナーとの組み方 4. 次世代テーマ探索 ・次世代テーマの定義 ・未来洞察 ・テーマ評価基準 5. OI の多様な展開 ・展開のための課題 ・目標設定 ・OI 多様化への対応 6. OI 推進共通課題の掘り下げ ・イノベーションへのアプローチ ・OI の活用方法 ・ニーズとシーズ 7. プロデューサー人材像の仮説立案と検証 ・OI 推進者の役割 ・プロデューサーの型 ・プロデューサーの視座
第 7 回 6/ 未定	◆メンバー事例 P&G イノベーション合同会社のオープン・イノベーション 本交流会議 研究アドバイザー P&G イノベーション合同会社 グローバル事業開発部コネク ト アンド デベロップ 日本・韓国担当ヘッド J. ラーダー キリシャナン ナーヤ 氏	分科会研究討議と意見交流
第 8 回 7/24 (水)	ゲスト講演あるいはメンバー事例における オープン・イノベーション推進体制と展開事例のご紹介	分科会研究討議 ー最終会合に向けたまとめー 第 3 回～第 7 回で研究討議した議論を整理し、課題解決策、現場で活かせる提案にまとめる。
第 9 回 9/11 (水)	分科会研究成果の発表と意見交流	今期の感想、これからの課題についての意見交流

◆ 第 5 期 「オープン・イノベーション推進者交流会議」 ―研究経過―

研究テーマ／講演・討議内容

第 1 回	■基調講演 ダイキン工業のオープン・イノベーションの取り組み ダイキン工業(株) テクノロジー・イノベーションセンター 副センター長 河原 克己 氏
第 2 回	■ゲスト講演 イーライリリー社のオープンイノベーションについて 日本イーライリリー(株) 研究開発本部 エクスターナル・イノベーション・ジャパン部長 本田 孝雄 氏 ▶グループ討議
第 3 回	■ゲスト講演 共創でつくる未来 ～価値創造の仕掛けと求められる人財～ オムロン(株) SDTM 推進室長 竹林 一 氏 ▶分科会の編成
第 4 回	■ゲスト講演 ホンダのオープン・イノベーションへの取り組み ～新拠点 Honda イノベーションラボ Tokyo と R&D センター X ～ (株)本田技術研究所 執行役員 R&D センター X (エックス) 担当 脇谷 勉 氏 ▶分科会研究
第 5 回	■分科会研究 各分科会による研究討議と意見交流
第 6 回	■合宿研究会 分科会による集中研究討議と意見交流 ①前回に引き続き、分科会に分かれて、メンバー各社の課題・問題意識の交流 ②上記①の交流で抽出された共通重要課題を浮き彫りに研究討議、意見交流を行う ③合宿研究会以降の分科会研究の方向を決める ④各分科会より今後の分科会の研究討議の方向を発表し、意見交流
第 7 回	■分科会研究 合宿研究会に引き続き、分科会の研究課題、関連したテーマの討議
第 8 回	■分科会研究 ―最終会合に向けたまとめ― 第3回～第7回で研究討議した議論を整理し、課題解決策、現場で活かせる提案へのまとめ
第 9 回	■分科会研究成果の発表と意見交流 1. OI 推進の仕組み、活動 2. OI ニーズ、課題の選出方法 3. 新規事業テーマの創出 4. 次世代テーマ探索 5. OI の多様な展開 6. OI 推進共通課題の掘り下げ 7. プロデューサー人材像の仮説立案と検証

第 1 期～第 4 期の参加企業

大阪ガス(株)	ヤマハ発動機(株)	小林製薬(株)	凸版印刷(株)	出光興産(株)
P&G イノベーション合同会社	(株)ダイセル	住友電気化学(株)	横浜ゴム(株)	味の素ファインテクノ(株)
(株)ナインシグマ・ジャパン	古野電気(株)	住友大阪セメント(株)	(株)明電舎	西日本旅客鉄道(株)
アサヒグループホールディングス(株)	文部科学省	京セラ(株)	古河電気工業(株)	鹿島建設(株)
ヤンマーホールディングス(株)	DIC (株)	(株)トクヤマ	オークマ(株)	三機工業(株)
サントリーグローバルイノベーションセンター(株)	ライオン(株)	(株)リコー	(株) LIXIL	国立研究開発法人科学技術振興機構
JX 日鉱日石エネルギー(株)	花王(株)	(株)ブリヂストン	コニカミノルタビジネスアソシエイツ(株)	前田建設工業(株)
ハウス食品グループ本社(株)	パナソニック(株)	東京電力ホールディングス(株)	旭化成(株)	富士ゼロックス(株)
リコー IT ソリューションズ(株)	(株)村田製作所	三井化学(株)	(株)フジクラ	東芝テック(株)
武田薬品工業(株)	宇部興産(株)	日本ゼオン(株)	(株)ファンケル	TOTO (株)
(株)資生堂	日東電工(株)	(株) IHI	(株)日立製作所	塩野義製薬(株)
(株)デンソー	日立化成(株)	コスモ石油(株)	(株)ジェイテクト	(株)島津製作所
帝人ファーマ(株)	(株)デンソー	日本電気(株)	キリン(株)	高砂熱学工業(株)
アサヒビール(株)	経済産業省	積水化学工業(株)	オムロンソーシアルソリューションズ(株)	(株)富士通エフサス
ヤンマー(株)	日立造船(株)	(株)日本触媒	旭化成エレクトロニクス(株)	
ブラザー工業(株)	三菱ガス化学(株)	TOA (株)	(株)東光高岳	

◆ 第5期 参加者の声

- ・多くの意見質問が展開し、各種の出典資料の説明のみならず独自の内容が多く参考になった。
- ・毎回、興味のあるゲスト講演と OI 先行企業の方、大手企業の方々、同じ境遇の方とのディスカッションは非常に刺激になった。
- ・各社、業種によって取り組み課題が大きく異なることがわかり、大変参考になった。
- ・分科会メンバーと各社の課題意識や知見についてディスカッションができ、自身の考えを深めることができた。
- ・各社で深く悩みながらも情熱を持った担当者がさまざま考えていることが分かり、自社の立位置と見比べることができた。

◆ 第5期 分科会研究成果報告の一部抜き刷り

【1分科会】

OI推進の仕組み、活動

1. アンケート結果

回収結果：有効回答数 23件（別添録22件 重複、匿名、特異情報除）

➤項目

1. 所属部署（業種）
2. 意識、実現したいこと
3. 課題、克服法
4. 推進状況

➤3座種に分けて分類し解析を行った

1. 材 料 (6)
2. 製 品 (10)
3. サービス (7)

1. アンケート結果

3-3) 推進上の課題と克服

IV) 意識の課題

- 意識の課題、克服の課題
- 意識の課題、克服の課題
- 意識の課題、克服の課題

V) 関係構築

- 意識の課題、克服の課題
- 意識の課題、克服の課題
- 意識の課題、克服の課題

【2分科会】

OIニーズ、課題の選出方法

研究目的

- 演習を通して、ソリューション探索型OIの成功要因を実証研究する。
- OI推進リーダーを育成する。
- 実務の要諦を学ぶ

考 察

- ニーズのOpen-Closeさじ加減
- 提案者の不安払拭
- 比較できる情報の有用性

① 顧客側 ② 仲介者 ③ 提案者

比較情報

【3分科会】

新規事業テーマの創出

1. 「新規事業テーマの創出」に対する各社の考え

【各社の課題】

- 新規事業の創出に、先ず必要なのは「アイデア」である。
- 新規事業の創出に、先ず必要なのは「アイデア」である。
- 新規事業の創出に、先ず必要なのは「アイデア」である。

オープンイノベーション

【各社の課題】

- 新規事業の創出に、先ず必要なのは「アイデア」である。
- 新規事業の創出に、先ず必要なのは「アイデア」である。
- 新規事業の創出に、先ず必要なのは「アイデア」である。

2. 世界観・テーマ抽出のアプローチの方法①

共通認識＝一般的な方向性から、明確な目標を設定し、それを達成するための具体的な行動計画を策定する。

【各社の課題】

- 新規事業の創出に、先ず必要なのは「アイデア」である。
- 新規事業の創出に、先ず必要なのは「アイデア」である。
- 新規事業の創出に、先ず必要なのは「アイデア」である。

【4分科会】

次世代テーマ探索

“次世代テーマ”をどう定義する？

Forecast
OIの発展
Backlog
未来予測

技術の進化
新たな
社会の変化
ゲームチェンジャー

解決策

ゲームチェンジャー (G.C.) を起こすようなテーマ

G.C.は、既存の市場に新たな価値を生み出す。A社の技術とB社の技術を組み合わせることで、新たな市場を開拓する。

簡単にはG.C.が起こらない

公知の市場における公知のビジネスモデルは

鮮明に見える

不明瞭な市場
→そこに市場はあるのか？
→その市場の成長性は？

不明瞭な技術
→その技術で何ができるのか？
→その市場の成長性は？

不明瞭なビジネスモデル
→その市場で何ができるのか？
→その市場の成長性は？

不明瞭な○○○はぼやけて見える

【5分科会】

OIの多様な展開

2. 分科会活動概要

① 中長期のビジョンを明確にしている
（大企業・中堅企業・ベンチャー・スタートアップ）

② OIの推進体制が整っている
（経営層・専任部署・専任人材）

③ OIの推進体制が整っていない
（経営層・専任部署・専任人材）

④ OIの推進体制が整っていない
（経営層・専任部署・専任人材）

4. 調査報告

① OIのあり方が明確化している
（OIの推進体制が整っている）

② OIを成功させるために必要な環境が変化している
（OIの推進体制が整っている）

【6分科会】

OI推進共通課題の掘り下げ

イノベーションが生まれる現場を体験！

100banch @ 渋谷
2018/03/07

背景

「オープンイノベーション(OI)の推進」が従来のミッションになっている

① 経営層の意識
② 専任部署の設置
③ 専任人材の確保

課題・そもそも何のためにやっているの？

お客さまに、新しい魅力的な価値を創出したい
そのためには「イノベーション(OI)」が必要

疑問・でも「イノベーション(OI)」ってなに？ 発想したい！！

どう活用すれば、イノベーションを加速し価値向上につなげられるのか？

【7分科会】

プロデューサー人材像の 仮説立案と検証

0. はじめに

■ オープンイノベーション (OI) 推進の課題

- OI推進のために、経営層の意識を高める必要がある。
- OI推進のために、専任部署を設置する必要がある。
- OI推進のために、専任人材を確保する必要がある。

その結果、新事業へのアプローチができていない

2. 理想のプロデューサー人材像

● 理想のプロデューサー人材像

- 経営層の意識を高めることができる人
- 専任部署を設置することができる人
- 専任人材を確保することができる人

視座力

行動力

参加要領

正会員 302,400円 (本体価格280,000円)

※1社2名参加可能です。

一般 324,000円 (本体価格300,000円)

参加費

※分割・次年度支払い等も可能です。お気軽にご相談下さい。

・上記参加費には、通信費・資料代・飲食費等の他に、下記費用が含まれます。

(1)合宿研究会費：(32,400円 / 1名分 <税込>)

※2名で参加の場合は、他に1名分として32,400円 <税込> をご負担いただきます。

(2)懇親会費：43,200円 <税込>

・個別に合宿研究会を開催する場合は別途実費をいただきます。

申込先

一般社団法人 企業研究会 担当：田口・井堀

〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 MFPR 麹町ビル 2F

TEL. 03-5215-3512 FAX. 03-5215-0951

e-mail : taguchi@bri.or.jp URL : <https://www.bri.or.jp>

※下記申込書に必要事項をご記入の上、[企業研究会 オープン・イノベーション推進者交流会議](#) 

FAX でお送り下さい。ホームページからもお申し込みができます。関係書類を郵送申し上げます。

※本交流会議の詳細につきましては、お気軽に上記担当までお問い合わせ下さい。

事業コード：
180171

2018年12月19日(水) 第6期「オープン・イノベーション推進者交流会議」申込書

一般社団法人 企業研究会 御中

- ☐ 会合の趣旨に賛同し、参加を申し込みます。
☐ 参加検討中につき、第1回会合の体験参加を申し込みます。

会社名	(フリガナ) -----
会社所在地	〒 ---
ご登録者1氏名	(フリガナ) ----- ☐ 請求書をご希望の場合は ☒ 印をつけてください。
ご所属・お役職名	
e-mail	@
TEL / FAX	TEL. --- FAX. ---
会社名	(フリガナ) -----
会社所在地	〒 ---
ご登録者2氏名	(フリガナ) ----- ☐ 請求書をご希望の場合は ☒ 印をつけてください。
ご所属・お役職名	@
e-mail	TEL. --- FAX. ---
TEL / FAX	

※2名までご参加できますのでご登録下さい。

※お申込書にご記入いただきました個人情報は、本交流会議に関するご確認・ご連絡及び当会主催のご案内等をお送りする際にご利用させていただきます。